

市政を  
問

## 平成26年第2回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問の順番で掲載しています

緑や自然の保全と  
超高齢化での福祉

無会派（みんなの党） いう 太郎

Q緑について！ここ10数年間の緑被率は年々下がりが続き、ここ10数年間で8%低くなっている。原因は農業を営む方々が相続時に農地を売却せざるを得ない事です。生産緑地に指定されている農地には農業委員会で農地を宅地転用する許可をもらい、都市計画法に基づいた審議会で農地を市に買い取ってもらう手続きが有ります。私はその委員として10年近く務めて参りましたが、未だ市が農地を買い取りした事例を知りません。このまま看過すれば、緑豊かな国分寺市の魅力が色褪せてしまい、異常気象による洪水などの自然災害に対応出来なくなるかもしれません。この問題にどのように対応すればいいのか？時間をかけて考えてきました。

対応策その一、国分寺市には宅地開発公園が170以上あります。その中で現在あまり使用されていない公園で砂場は衛生的でない。樹木が繁茂し防犯上に問題があるなどこのような公園を売却して統廃合を行い木の香がするような自然味溢れる公園を作っていくやり方です。

二つ、都市計画法に基づき、風致地区や都市計画緑地に指定して緑の保全を図る事。

三つ、以前代表質問で伺いました、法定外目的税の緑地保全税を導入する。今回この事をさらに詳しく調べてきました。横浜市は緑被率50%ありましたが、現在は31%に減少してしまい、横浜みどり税を導入しました。市民税納税者一人当たり900円市に収める制度です。

これらを踏まえて検討して頂きたいとおもいますが、いかがでしょうか？

A都市建設部長) どれも議員ご指摘のような視点での研究が必要だと認識しています。

Q高齢者福祉について伺います。1980年代から国は高齢者福祉の制度化を進めてきましたが、ゴールドプラン等について説明を求めます。

A高齢者福祉担当部長) 特別養護老人ホーム他整備する計画です。国が考えていた以上に高齢化が進み、居宅型サービスを進め、生きがいづくりや介護予防のサービスの拡充を進めてきました。

Q介護保険が導入されてその後どのような変化がありましたか？

A高齢者福祉担当部長) 当時介護問題は自己責任の原則と社会的連帯に基づいていましたが、社会が介護に責任を持つ意味で平成12年に40歳以上の国民に公平に負担して頂くシステムの介護保険が導入されました。その後平成18年に制度維持の可能性や社会保障の総合化など見直しがなされ、平成24年に地域全体で支える体制が不十分なため地域包括支援センターが導入されました。

認知症チェッカー供用開始  
早期発見をめざせ

公明党 さの 久美子

## 1. 女性のがん対策について

コール・リコール制度で受診者増をめざすとともに、受診しやすい環境整備を求める。市) 過去4年間のクーポン事業未受診者のうち、子宮頸がん検診は25・30歳、乳がん検診は50・60歳を追加実施する。環境整備は今後も取り組む。さの) 子宮頸がん検診に初期病変の発見率の高いHPV検査を追加することを提案する。市) 他市の情報を収集しながら研究してみたい。

## 2. 認知症対策について

(1)認知症の早期発見のため、待ちに待った認知症スクリーニングシステムが供用開始された。その内容、広報は。市) 5月29日に市のHP上に掲載。家族・介護者向けの「これって認知症？」とご本人向けの「わたしも認知症？」の2種類があり、本人向けは日本で初めて導入されたもの。周知は市報、チラシ、ぶんバス車内ポスター掲示など、あらゆる機会を捉えていきたい。市長) 自分も使ってみた。若年性認知症などもあることから、年齢に関係なくチェックし、疑いがあった時は、早期に相談、受診が必要。ぜひ、活用願いたい。プレス発表も実施した。

(2)認知症カフェは、オレンジプランに位置付けられた、地域での日常生活、家族の支援の強化のための施策。早期発見・早期診断された方や若年性認知症の方が、ご家族ともども利用でき、地域の居場所になりうる認知症カフェを導入すべき。市) 地域包括ケアシステムの構築という大きな命題の中で、研究していきたい。

## 3. アレルギー対策について

食物アレルギーは状況によっては、生命の危険にもつながるおそれがある事柄。保育園での対応はいかがか。市) アレルギー対応マニュアルは現在、作成中。さの) 今後も保育の質の担保や安心のために、基幹型保育所システムの中で、情報交換、栄養士の交流などを検討すべき。市) 保護者が安心できる体制をつくりたい。

## 4. 安全・安心のまちづくりについて

(1)スタンドパイプは、訓練をした防災会等がある地域から配置すべき。地域防災センターに配置することから、中学生にも訓練する機会をもってほしい。教育長) 考えてまいります。

(2)避難所運営の疑似体験ができるHUGを新入職員や防災推進地区などで研修すべき。市) 来年度、新入職員研修プログラム見直しの中で防災の別カリキュラムを考えていきたい。

## 5. 公共マーク普及啓発について

誰もが安心して暮らせる社会を目指していくために、数多くある公共マークの周知をすべき。市) 障害者週間に合わせて、市報掲載していく。

振り込め詐欺撃退対策を  
行政と警察署一体で

自民党・市民クラブ 須崎 宏

## 問) 振り込め詐欺について

①現在当市管内での被害金額と件数について  
部長) 1月から5月まで9件5,980万円被害。

②今後の行政としての対応は。

部長) 今後は様々な通知書を発送する中にチラシを入れ振込詐欺に遭わないよう啓発していく。

## 問) 平和祈念行事について

ピースメッセンジャー派遣について2泊3日にした事は評価するが参加費については再考を。

市長) ご意見をしっかりと受けとめさせていただいて、今後研究検討し適切に対応して参ります。

## 問) 史跡公園整備について

①農地の追加指定と相続関係の買収について  
部長) 東山道武蔵路が崖線の高低差の中で真っすぐ通っている事が昨年調査でわかり今年度崖線直下のところを調査し学術的土木的道路構造として評価されれば追加指定に向け進めていく。今回のような相続については別途計画している。なるべく早く庁内調整し、東京都、文化庁と協議して早急に対応していく。

## ②史跡公園の有効活用について

部長) 内容について十分相談し、関係者、観光協会や商工会又各商店街等で協議し、今年は魅力を発信する初年度とし取り組みを進めていく。

## 問) 真姿の池周辺整備について

自然を活かした対応を。

部長) 将来的な整備をする際には、お鷹の道と同様な整備をするということ認識している。

## 問) 野川及び3・4・11号線について

進捗状況と今後の課題は。

部長) 野川について市は水の骨格軸として治水機能の向上や防災性を高め親水空間に向けた整備を東京都に要望を重ねていき、野川最上流部の整備を検討していき、野川整備に関する必要性やその整備効果とまちづくりなど、周辺の自治会の方々にご説明をし、またお声を聞いてきたのが現在の進捗状況です。

3・4・11号線については都市計画道路を整備していく際の標準的進め方で説明させていただき1月のときに比べご理解を深めていただけたかと考えている。今年度も継続して懇談会を開催しわかりやすくお答え説明できるよう努め、沿道まちづくりの方針を検討して参ります。

## 問) ぶんバスについて

万葉けやきルートの進捗状況と今後の課題は。

部長) 万葉けやきルートについてワンボックスカーによるバス運行が可能なルートの選定作業を現在進めている。万葉ルートは一部南北道路を拡幅するか一方通行にする必要性があり地元の方々のご意見も踏まえ方向性を見出していく。

## 次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成26年第3回定例会は、9月1日(月)から開会の予定です。議会はどなたでも傍聴できます。審議に関連する資料も自由に閲覧できますので、ぜひこの機会に市議会を傍聴していただきますようお願いいたします。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。